

西阿知と花蓮業

三宅松三郎商店の歩み





広幅の織り機（6尺×9尺）で3畳敷きの
一枚ものを織っているところ



機械化された織り機



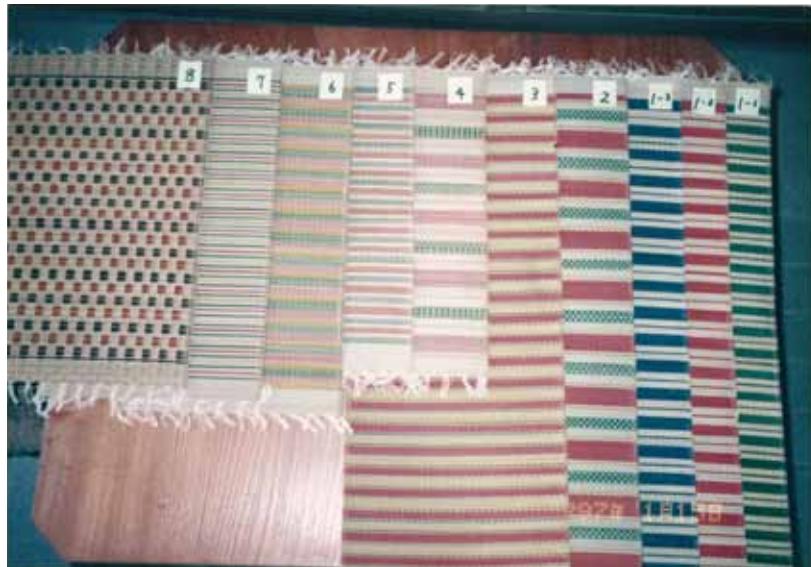
ユ染め作業



吉原 慶典氏撮影



色ユ干しと（染まったユを干す作業）と
様々な色に染めあげられた色ユ



大阪日本民芸館 西日本の手仕事展出展（平成 9 年）



民芸 21 フェスティバル in 倉敷の見学会で訪問された方に
花蓮について説明をする様子（平成 18 年）



大阪高島屋での即売会の様子（昭和 48 年）



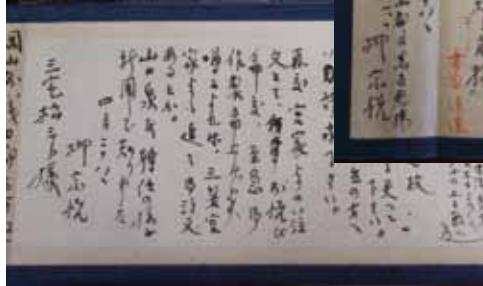
写真中央に修理中の三重塔が見える（昭和 41 年 4 月）



遍照院三重塔修理落慶記念と当時の西阿知の風景
(昭和 42 年 10 月)



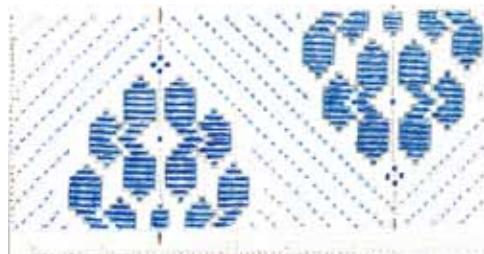
浅口郡西阿知町だった頃の納品用ラベルや荷札



柳宗悦氏のお手紙



棟方志功氏のお手紙



著者がデザインした
コマ貼り用の図面



当店に縁のあった方の図案集や手紙は妻が表装し
現在も大切に保管している



芹澤鉢介先生の手書きの花むしろ図案集

手作りの人形（和紙人形作家 浜田文子氏協力による）

『花むしろの手仕事をする人』 倉敷物語館で展示（平成25年）

織り



ユそぐり



ゴザ干し



ユかし



ユ染め



荷作り



端タクリ



たて巻き